



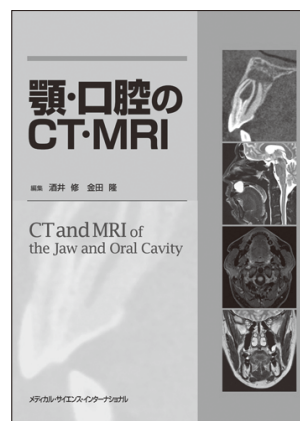
書
評

顎・口腔のCT・MRI

編：酒井 修，金田 隆

B5 頁 392 2016 年 4 月 定価：本体 8,200 円＋税
[ISBN978-4-89592-847-2] MEDSi 刊

＜書評者＞ 栗田賢一（日本口腔外科学会理事長・
愛知学院大学歯学部顎口腔外科学講座主任教授）



このたび、メディカル・サイエンス・インターナショナル社から刊行された「顎・口腔のCT・MRI」は、顎口腔領域に関する画像診断の最新の解説書といえる。私の知る限り、国内では本書に匹敵する同類の本は存在しないのでないか。

編者による序文では、「最近、多くの歯科医、口腔外科医、耳鼻咽喉科-頭頸部外科医および放射線科医が顎・口腔領域に詳しい画像診断書を切望している、と頻繁に耳にするようになったため、その要望に応えるべく、顎・口腔領域について詳しく記載した画像診断書を出版する運びとなった」とあるが、まさに時宜を得た出版といえる。

顎口腔領域は複雑な解剖形態に加え、疾患も多彩である。さらに治療においてもデンタルインプラントやIVR（Interventional Radiology）など近年進歩が早いので、こうした内容を網羅したCT・MRIの解説書が望まれていた。まさに本書ではCT・MRIについての基礎や正常像のみならず、近年急速に普及しつつある

歯科用コーンビームCT（CBCT）の特徴や適用にも触れながら、デンタルインプラント治療に必要な画像知識からがん治療の最先端であるIVR、がん治療の経過の要点などがわかりやすく記載されている。もちろん、顎口腔領域の各種疾患について典型的なCT・MRIが掲載され、それぞれの診断ポイントが簡潔に要約されている。さらに、顎・口腔領域の臨床では欠かせない唾液腺や頸部リンパ節の画像診断の解説も加えられ、実際の臨床に役立つよう配慮されている。この領域の第一線の臨床医にとっても十分な解説が提供されているといっても過言ではない。

最後に、執筆に携われた放射線科医・歯科放射線科医双方のご尽力により、このような実践的な顎・口腔領域の画像診断の解説書が上梓されたことに敬意を表したい。本書は、顎口腔外科領域を扱う医療関係者にとっては手元に置き、診断治療の際にはいつも参考にしたい書である。また、研修医や専門医を目指す者にとっても有用な書として推薦したい。